

令和2年度熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
「第4回理事会」議事内容

日時	令和2年10月13日(火)午後1時30分～午後2時30分
場所	オンライン(LINEテレビ電話)
出席者	水野、山中、齋藤、桐原、廣田、橋垣、永嶋、原(理事8人) 永田、太田黒(事務局2人)

会 議 内 容

1 開 会

2 あいさつ 挨拶：水野会長

3 議長選出 議長：水野会長

4 議 事

(1) オンラインセミナーの開催について(資料P1～3)

- ・齋藤理事長から、10月14日(水)に開催するオンラインセミナーの概要説明。
- ・今後もオンラインでの事業実施を検討していくため、参加申込方法についても、Googleフォームを活用して行った旨説明。

—協議の結果—

- ・異議なし。

(2) 県民スポーツの日「ふれあいスポーツ」について(資料P4～6)

- ・県教委より、新型コロナウイルス感染症のリスクレベルが上がったことにより、県民スポーツの日の開催を中止する旨連絡があった旨説明。
- ・本協議会としても、ブースの中止について情報共有。

—協議の結果—

- ・異議なし。

(3) イトメンについて(資料P6, 8)

- ・10月8日に齋藤理事長と事務局で山都ふれあいスポーツクラブへ訪問し、意見内容を再度精査したところ、第3回理事会での説明との相違があったため、齋藤理事長から補足説明。

- ・本協議会としては、県にもクラブにも還元される事業として、イトメンとの連携を始めたが、さらに機運を高めるよう、イトメンの活用に関する情報発信をしていく必要がある旨説明。

—協議の結果—

- ・冬期の販売が開始されるため、その際夏期の購入一覧を添付し、活用事例についても併せて情報発信することとする。

- ・イトメンの購入については、任意であるが、クラブにも県にも還元されることであるため、情報発信に力を入れていく。

(4) 豪雨災害に関する支援金について(資料P7)

- ・徳島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会から、豪雨災害に関する支援金の送金について連絡があった旨報告。

- ・支援金の使途について、事務局案としては、被災クラブへの送金を提案。(協議会加入クラブであるカルヴァーリョ・ラッソ人吉とさかもと未来クラブには8万円ずつ、協議会非加入クラブには2万円ずつ)

—協議の結果—

- ・被災地の状況を再度情報収集し、支援方法について再度検討する。

- ・支援金送金を含めた「財政的支援」、復旧作業やクラブの事業への人材派遣を含めた「人的支援」が考えられるが、本協議会としての取組を今後も引き続き検討する。

